

フォレスト・サポーターズに 南沢奈央さんが登録

森林を訪れ間伐の重要性などを体感

女優の南沢奈央さんが、昨年11月末にフォレスト・サポーターズに登録をしました。

我が国の新たな温室効果ガス削減目標の達成に向けて、間伐や間伐材利用の大切さを伝えるために、今後協力していただくことになっています。

12月には、早速関東近郊の森林を訪れ、間伐の重要性などを実際に見学しました。

「森林についてしっかり勉強して、間伐材マーク製品を中心に、間伐や間伐材利用の大切さを伝えるために協力していきたい」

と語る南沢さん。ドラマ撮影などで多忙な中、去る12月17日に山梨県大月市を訪れ、植林後の若い森、間伐を行った森、さらに主伐を行っている森などを巡り、「森林の一生と循環」を勉強しました。



1990年6月15日生まれ、埼玉県出身で趣味は読書と落語鑑賞。俳優としてドラマ・映画などに多数出演。

最初は4年生のヒノキ人工林。樹高はちょうど奈央さんと同じぐらいの高さです。

「4歳だと、まだそんなに大きくないですね」

との第一印象。しかし、次の9年生の除伐を終えたヒノキ人工林では、身長約2倍まで伸びた木々にビックリ。

「下刈りや除伐などの手入れをしないと、雑草や灌木に負けてしまい、良い森に育たなくなります」

との山梨県職員の説明に大ききうなずいていました。

午後は、いよいよ本命の間伐の見学。地元の森林組合職員の案内で、間伐前、



間伐作業中、間伐1年後の3つの森を順番に見学して、比較してもらいました。「森の中に実際に入ってみると、ピフオーとアフターで明るさが全然違いますね。間伐が大事って実感できます」と南沢さん。ここでは、ノコギリを使った枝打ちも体験してもらいました。



さらにその後、主伐の作業をしている森を訪れました。大木をチェーンソーで伐採する現場は大迫力！

「最近若いや女性も採用しています。林業は、自然の中で働き、地元の資源を活かす魅力ある仕事ですよ。欲を言えば、もう少し良い値段で木材が売れるとね〜」

という林業事業体の社長さんの話も、熱心に聞いていました。

朝から夕方まで、森の一生を駆け足でまわった南沢さん。都会っこで、これま

で森林にあまり触れたことがなかったそうです。今回の見学はとも強く印象に残ったそうです。「森をしっかりと見たのは初めてでしたが、とても勉強になりました。今まで山を見て、特にこれといって感じるものはなかったのですが、今日一日いろいろ教わって、帰りの車から山を見ると、あんな高いところまで木が植えてある、とかあそこはそろそろ間伐するのかな、なんて思うようになりました。山の風景が違って見える気がします。森の空気もとても気持ちがいいし、また森に行きたいです」と感想を話してくれました。



今回の見学をコーディネートした間伐材マーク事務局の方も、

「間伐の大切さを感じていただけたと思います。素敵なお方に間伐や間伐材の応援をしていただけて、とても嬉しいです」

と満足げな表情でした。

南沢さんの今後の活躍に、期待大です。次はあなたのところにサプライズ見学や激励に訪れるかもしれません。お楽しみに。